

平成23年度

精神保健福祉ボランティア講座

開催報告

写真は、第3回目の講義「耳を傾けて話を聴くこと」とロールフレイの様子です。
受講者の方々の感想を一部掲載させて頂いております。



- ・ロールフレイは初めてでしたが、人の話を聞く深さを感じました。
- ・相手の伝えようとしていることを一生懸命理解して、ゆっくり話を聴くことが大切なんですね。
- ・心をこめて聴くことの大切さと同時に、難しさも感じました。相手に寄り添い、相手の身になり、聴く姿勢を身につけていきたいと思いました。

- ・先入観を持たずに気持ちをフラットにして相手の話を聴くという事が、ボランティアだけでなく「人」として接していく上でとても大切だと改めて感じました。
- ・話を聴くという事に100点満点はないという先生のお話にし少し安心しました。
- ・何事にも心のコミュニケーション、愛情が大切ですね。



精神保健福祉ボランティア養成講座では、対象者を「心の健康に関心のある区民」とし、精神障がい者への理解の促進、精神保健福祉ボランティアの育成・支援を目的として平成7年度よりふれんどりいにて毎年講座を実施させて頂いております。

今年も5日間の日程で12名の方々が受講されました。5日間の講座の中には、病院・就労継続支援事業B型・グループホームの見学、精神障がいの理解を深める講義、当事者の皆様からのメッセージなど内容は盛り沢山でした。実際の現場の現状や課題を知り、そして当事者の皆様の生の声を聴き、地域で支え合うことの大切さや今後の活動に向けて一步を踏み出す勇気を頂いた方が多くいらっしゃいます。受講者の皆様から「私達に出来る事は何だろうと考えさせられました」「気負わずに自分が出来るボランティアを見つけたい」という前向きなお話を多く頂きました。講座終了後も定例会を通して活動を続けていきます。

今回の講座で関係機関の皆様、ピアサポーター・地域生活サポーターの皆様のご協力を頂き感謝しております。受講者の皆様もお疲れ様でした。

